

各 位

当社常勤役員の新型コロナウイルス感染について

本日、当社の取締役が新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。肺炎と診断され、入院しています。当該取締役は先月26日(木)午後以降に咳と微熱の症状があり、いったん症状がおさまったものの再度発熱し、31日(火)午後から自宅で休養していました。

症状がおさまっていた間、数日にわたり出勤して社内外の関係者と接触していたことから、本人の行動について詳しく調査し、接触があった方々には個別に連絡をとっています。

また、当社は自治体や保健所と連携をとりながら、消毒など感染拡大を防ぐために必要な対応を進めてまいります。感染者についてと、当社の対応状況は下記の通りです。

記

■感染者について

年齢60歳代で、アナウンサー室、制作局、東京制作局を担当する取締役

3月26日以降の行動は以下の通りで、昼食時含め社外には出ておらず、常時マスクを着用。

- ・ 3月26日(木) 午後から咳の症状。翌27日(金)は微熱(36℃台後半～37℃台前半)があり自宅で休養。
- ・ 28日(土) 咳・熱ともおさまったため出勤。翌29日(日)は自宅で休養。30日(月)は出勤。
- ・ 31日(火) 出勤するも午後早退し、自宅で休養。保健所に連絡。
- ・ 4月1日(水)～ 発熱(37℃台後半)が続く。保健所等からの連絡を待ち、自宅での休養を継続。
- ・ 4日(土) 西宮市内の病院でPCR検査を受けるとともに、肺炎と診断され入院。

■当社の対応状況

・消毒等の実施状況

保健所の指導にしたがって、専門業者による消毒を実施します。これに先立ち、本人への聞き取りをもとに立ち入り箇所については消毒を行いました。

・接触者の特定状況

発症以降の本人の行動履歴は詳細に把握し、会議等で長時間同席した役職員を自宅待機としています。また接触が確認できた社外の方々には個別に連絡し、本人の申告に漏れがないかさらに調べています。

・放送等への影響について

感染を拡大させることのないよう最大限注意しながら放送を維持し、地域の方々に情報をお届けできるよう努めてまいります。

以上